



(1)

鴻巣市立鴻巣中学校 学校だより

「あいさつカードある学校にしたい。」といつ、教職員・生徒共通の思いが今の『あいさつ運動』を生み、「あいさつをすると気持ちがいいな。」「あいさつは大切な。」と

生徒作・あいさつ運動ポスター

に、自然と身に付いたのが「加瀬透」と「あこやつ」や「あこやつ」だったと聞かれて、どうしよう。

つい、近付も、迫つてゐる鴻中生が増えてしまつてゐます。せつと、今月から、「じふにひばは。校長先生、今 日は暑いですね。」と「あいせつ+(アーリス) 1(ツン) まで仕掛け くる生徒が出てくるのではないか、 と期待してゐるところです。

A group of students in school uniforms (white shirts and dark skirts) are standing in a line on a polished wooden floor in a gymnasium. They are facing a teacher who is standing at a podium on the left. A large banner with text is visible in the background. The scene is well-lit, suggesting a school assembly or presentation.

広がる「挨拶（あいさつ）運動」

校長 服部幸司

5月後半、鴻巣中では、3回の「あいさつ運動」が展開されました。生徒会の呼びかけから始まつた。生徒会の呼びかけから始まつた。生徒主体の活動です。水曜日朝、自

主的に集まつた生徒達が、正門、女子校側門、部室棟側門、1年校舎前、4階校舎前、それぞれの場所で、登校する鴻中生を元気よく笑顔で迎え入れます。取組当初の参加人数は少數でしたが、5月は参加者が集まり過ぎて、今回は1、2組、来週は3、4、5組、…と調整が必要な状態にまでなつてきています。



様々だと思いますが、基本的には、自分の一言で相手を嫌な気持ちにさせたくない、という気持ちが働いているように思えてしまうんです。

な状態にまでなつておひいています。この実感を、体験を通して学んでいけるように思ひます。

「あこせつがでものの学校にしたい。」といつ、教職員・生徒共通の昭和世代の多くは、親から、「あ

いわつはしなければいけないもの」と躰(しつ)けられ、中学校の部活動では、その異年齢集団という組織の

取り組む」という力を借りて、挨拶を自分からしてみたい、と取り組んでいるのが、本校の「あいさつ運動」なのです。

コラム視写

学力の向上を目指し、自主的・意欲的に学習に臨む習慣を育む」と、「静」で始まり、「静」で終わる落ち着いた学校生活の流れを育む事を目的としてコラム視写を継続的に取り行っています。一日の授業終了後に全徒が一生懸命取り組んでいます。





お知らせ
材費などの自動
き落とし日は、
月10日(月)です

欠席遅刻の連絡
8:05までにお願い
いたします。 



さわやか相談室
開室時間
AM10:30～PM3:30
相談室直通電話
048-543-5211

開室時間
AM10:30～PM3:30
相談室直通電話
048-543-5211

